

内視鏡やメス 「君は外科医」

松波総合病院で中高生体験会

中高生らが外科医の仕事の魅力に理解を深める「ブラック・ジャックセミナー」が、笠松町田代の松波総合病院であり、参加者が同病院の医師の指導で内視鏡やメスなどを使い外科医の仕事に触れた。

(小田香緒里)

仕事の魅力に理解深める

同病院とジョンソン・エンド・ジョンソンの共催で初めて開催。セミナーは子どもたちが医師の仕事に志すきっかけにしてみらおう

と、同社が全国の医療機関と開催している。

県内の中高生ら35人が参加し、電気メスや超音波メス、手術の縫合、気管挿管

など、実際の医療現場で行われている処置を体験。内視鏡手術のトレーニングでは、手元を写した映像を見ながら鉗子を器用に動かして輪ゴムをピンにはめる動作などを体験した。

体験終了後、同病院の松波英寿理事長が「医師になるには人より努力するのは当たり前で、人のためになることができるということを大切にしてほしい」と激励し、参加者にセミナー修了の証として「未来の医師認定証」を手渡した。

参加した中学3年生の男子生徒は「いろいろな医師が丁寧に教えてくれた。受験勉強しているときにこの体験がやる気につながりそう」と話していた。



医師の指導で内視鏡手術のトレーニングを体験する参加者(右)＝笠松町田代、松波総合病院